

2019年3月期第1四半期決算
カンファレンスコール要旨（開発パイプラインの進捗状況）

開発パイプラインの進捗状況については、決算短信の13ページから20ページに記載しており、それを基に説明します。

<がん領域の開発品状況>

■申請中の開発品

○オブジーボ点滴静注

オブジーボは、「悪性胸膜中皮腫」と「悪性黒色腫の術後補助療法（再発予防）」で申請中です。また、ヤーボイ点滴静注液との併用療法において「腎細胞がん」の一次治療でも申請中です。

○ONO-7702／エンコラフェニブ

ONO-7703／ビニメチニブ

BRAF 阻害剤「ONO-7702」と MEK 阻害剤「ONO-7703」は、両剤の併用療法において「悪性黒色腫」を対象に申請中です。

○ONO-5371／メチロシン

チロシン水酸化酵素阻害剤「ONO-5371」は、「褐色細胞腫」を対象に申請中です。

■2018年3月期決算発表（5月10日）以降の進捗状況

日本

○オブジーボ点滴静注

ONO-4687／Cabiralizumab

オブジーボと抗 CSF-1R 抗体「ONO-4687」は「膵がん」を対象としたフェーズⅡ試験を国内で開始しました。

○ONO-7705

米国カリオファーム社から導入した XPO1 阻害薬「ONO-7705」は、「多発性骨髄腫」及び「非ホジキンリンパ腫」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

韓国・台湾

○オブジーボ点滴静注

ONO-4687／Cabiralizumab

オブジーボと抗 CSF-1R 抗体「ONO-4687」は「膵がん」を対象としたフェーズⅡ試験を韓国と台湾で開始しました。

欧米

○オブジーボ点滴静注

オブジーボは、欧米において「卵巣がん」を対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。また、「膵がん」を対象とした抗 CSF-1R 抗体「ONO-4687」との併用によるフェーズⅡ試験も開始しました。

○ONO-7579

Tropomyosin receptor kinase (Trk) 阻害作用を有する「ONO-7579」は、固形がんを対象としたフェーズⅠ/Ⅱ試験を実施していましたが、戦略上の理由により試験を中止しました。

<がん領域以外の開発品状況>

国内

○オノアクト点滴静注用 50mg/150mg

オノアクトは、「生命に危険のある不整脈で難治性かつ緊急を要する場合：心室細動、血行動態不安定な心室頻拍」を効能・効果とした製造販売承認事項一部変更申請を行いました。

欧米

○ONO-5788

成長ホルモン分泌抑制薬「ONO-5788」は、米国で「先端巨大症」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

○ONO-8055

プロスタグランジン受容体 (EP2／EP3) 作動薬「ONO-8055」は、「低活動膀胱」を対象としたフェーズⅠ試験を実施していましたが、戦略上の理由により開発を中止しました。

以上